

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

안녕히 가세요^㉞ (안녕히 가요)、パクくん、ジョンくん



1月のはじめ、韓国の姉妹校から二人の留学生を受け入れました。滞在の終わりごろ、同じ学校の27名の中高生が一泊二日のホームステイで本校に滞在しました。1月25日の昼休み、お別れの会で、二人の修了式を行いました。そのときのスピーチを掲載します。二人とも短い滞在でしたが、ホストファミリーに温かく受け入れてもらい、とても中身の濃い3週間を送ったようです。

(注) 韓国語で、去って行く人に対しての「さようなら」。
去って行く人が残っている人に言うさようならは、
「안녕히 계세요.(안녕히 케세요)」

~~~~~ 夢みたいな日々

Park San Jun(朴相俊)
姉妹校交換留学
韓国・昌原南高等学校
2018.1.8 ~ 26

~~~~~  
日本に来たのは、4回目です。子どもの頃に九州に1回、高校1年生の時、大阪と京都に1回、そして去年も大阪と京都に来ました。日本に結構慣れているのではないかなと思いつつながら今回日本に来ました。しかし、今までは観光目的で日本に来ていて、ホームステイは初めてだったので、少し緊張もしていましたが、みんな優しくとても安心しました。

学校にもすぐ慣れたし、日本での生活もとても楽しかったです。日本に来て初めての週末には大阪にも行きました。久しぶりに行ったけど、日本人の友達と一緒にいったらまた違う気分でした。今回日本に来るまで友達の大切さが分からなかったのですが、この機会に生まれて初めて大切さを感じました。

本当に忘れられない私の初めての思い出をここで作りました。この学校での3週間は私にとっては夢みたいな日々でした。今までずっと日本の学校に憧れを持っていました。な

ぜかと言うと韓国での学校生活は本当に厳しいです。それに個人の能力を育てる時がありません。その反面日本の学校は部活とかで個人の能力を育てるのを見て羨ましい限りだなと思いました。今回のホームステイで私の一つの夢が叶いました。この思い出はたぶん一生忘れないはずです。3週間私を手伝ってくれたり、話しかけてくれた人達に感謝しています。ありがとうございます。まだ、話したいことはたくさんありますが、涙が出そうですから、ここまでにします。

### ~~~~~ 楽しい日本の高校生活

Jung Ho Yun  
姉妹校交換留学  
韓国・昌原南高等学校  
2018.1.8 ~ 24

~~~~~  
初めて日本に行くとき聞いた時はちょっとこわかったです。日本に行ったことはありますが、一人で外国に行くのは初めてだから緊張しました。知らない人たちと一緒にうまく生活できるかどうか分からなくてどうしたらいいのかをたくさん考えました。しかし、日本にきて初めて私のパートナーとあったとき、本当

に優しく期待以上の待遇を受けて感動して涙が出るほどでした。また、学校の生活も本当に楽しくて退屈になる時間はありませんでした。クラスの生徒たちも私が困ったときは私を助けてくれました。特に、ホームステイのパートナーたちに感謝の言葉を申し上げたいです。今までお世話になりました。ありがとうございます。

日本と韓国の学校は違うところがたくさんありました。色々なことがありましたが、それを全部合わせて言うと、日本の高校生活を韓国より楽しむことができました。韓国の高校は受験勉強のための授業しかありません。

もちろん、人生のなかで大学はもっとも大事なことですけど、人生のなかで一度しかない高校生活を試験のための勉強だけで過ごすのは残念なことです。しかし日本はそれと逆に美しい生活をしています。それ以外に友達と一緒に部活をしながら仲良くなることもあります。それで私は日本の学校生活がうらやましいです。

だから、私はきっと日本の大学に行くべきです。将来の夢のために皆さんも一緒に懸命努力して自分がしたいことをしてください。

韓国の姉妹校・昌原南(チャンウォンナム)中高から 一泊二日のホームステイ受け入れ

校長先生のあいさつ

昌原南中学校 沈相佰 校長



はじめまして。私は昌原南中学校の校長のシンサンベクと申します。今日、姉妹校である近江兄弟社高校に訪問することができ、本当に嬉しいと思っています。熱く歓迎してくださり、誠にありがとうございます。

長い間、近江兄弟社高等学校と昌原南中学校と、昌原南高校が姉妹校として交流してきたように、これからも、両校の関係がさらによくなくなるように、お祈りします。日本に滞在している時間を有効に活用し、日本について多くを学び韓国へ戻りたいと思います。よろしく願い致します。ありがとうございます。



代表者の挨拶

キムヒョンミン



皆さん、こんにちは。昌原南高等学校2年生代表キムヒョンミン、1年生代表のジョン・ホユンです。よろしく願いいたします。まず、皆さんとまたお会いできてすごく嬉しいです。

私たちは日本に来る約2ヵ月前に、韓国で近江兄弟社のみなさんと交流の時間を持ちました。その時間は、言語や文化の壁を乗り越えて、お互いが大切な友達になる貴重なものでした。

そして今、韓国ではなく日本で再びその機会が持てたことをとても嬉しく思います。お互いに近い国であるにも関わらず、みなさんと私たちの文化は全く違います。

もしかしたらお互いがごちなくなったり、イライラしたり、不便になることもあるかもしれませんが、今回も、私たちはお互いに良い友達になれると信じています。もう一度その壁を超えて、お互いに良い思い出を作りましょう。

どうぞよろしく願いします。ありがとうございました。

I can't talk Japanese well

111 加藤 大吉
姉妹校留学

Citipointe Christian College (オーストラリア)
2017/7/15 ~ 2018/6/30 頃

This term, I belonged to the intermediate classroom. I was glad about that, although I can't actually participate in the main stream class. Which means that I can choose a class, though it isn't all of the classes, therefore I usually study in the intermediate classroom and sometime I can go to main stream to learn the second subject. According to the changing of the classroom, our class is getting more difficult especially the vocabulary and grammar is, too.

A few days ago, I did some translation from English to Japanese because a new Japanese student came. It was very difficult for me because I had not spoken Japanese in a long time, so I could understand English easily, but I couldn't talk Japanese well. I was amazed by that. In addition, I recently feel talking in English is easier than talking in Japanese honestly. For example, when I talk with a teacher, I usually speak politely in Japanese, but in English, I speak normally even with a teacher, therefore I think English is more useful than Japanese.

On a different topic. Before I came to Australia, teachers described about study overseas to three people. They were me and two other people, and two of us, me and other one students, were grade 10, and one student was grade 11. The teachers told us, "Your grades are different from each other, so I think each of you won't belong in the same classroom, but please be careful and don't gather and speak Japanese as much as possible." So I thought I can belong to a classroom of the same grade, however, in fact, I did not and it didn't matter because the classroom was decided depending on our English levels. I don't know if you knew it or not, but I hope students who come to Australia this year don't misunderstand the same things again. To do that, I tell you the fact, so please tell it to them.

My school is composed with kindergarten, primary school, junior high school, high school,

and international college. At first, international students need to belong in international school to prepare everything that they need at high school such as English level, but the preparation is quiet difficult because when you come to Australia, you've already been a high school student, so you need to get a very high level ability of English. Until, you get it, you can't go to main stream to attend any class. Even if you belong in the highest English level class in international college, you can choose just one of the classes. How much level you need, I can't express it, but a few days ago, people who have obtained the qualification of 英検二級 came, however their levels are bottom of the middle in international college and they joined in middle level classroom. Therefore, if you want to go to main stream within a year, you must make a big effort, or your original English level needs to be high, so I recommend going to America if you want to learn something with native speakers and other formal circumstances. Of course, our course has many advantages too. For example, if you choose this course, you can get very formal and correct English because there are three classroom and you can join the classroom as your level and you also study very basic grammar to very difficult grammar, also vocabulary and other stuff too. You might think you can do it in America too, but you can't because if you go to America, you belong in a normal classroom and receive the same class as other normal students. Along with that, in the beginning, you won't understand what they say, but you try to answer them, so your English will just tell the answer without right grammar. If you stay longer, you can obtain better grammar, but the course is just 8 months, so I think it's difficult. Please hear this advice because eventually, you decide everything and you can change them with your efforts.

(2018/01/25 受信)



ホストファミリー募集

学園では、姉妹校からの交換留学生をはじめ、AFS や YFU といった留学機関、ロータリークラブの交換留学生を積極的に受け入れています。

留学機関においてはホストファミリーがいれば留学生を受け入れることができるけれども、ホストファミリーがなかなか見つからないという状況があるそうです。1年あるいは半年など長期にわたる受け入れは、大変かもしれませんが、得るものもたくさんあります。

下記は、AFS 日本協会からのメッセージです。お読みいただき、ぜひ留学生のホストファミリーになってください。

家族で世界と繋がろう

異なる文化や考え方の人と、折り合いをつけながら仲良く暮らしていく「多文化共生」への注目度が高まっています。海外の高校生を家庭に受け入れることは、家族みんなで異文化理解について学び、国際感覚を養う絶好の機会となるでしょう。

Welcome adventure: 他国からやってきた若者の目を通して、日本の文化を再体験してみませんか？

Welcome change: グローバル社会で生きる準備として、世界中の人々と繋がってみませんか？

Welcome discovery: 海外の高校生が、日本の文化を学びながら楽しく暮らす手助けをしてみませんか？

AFSについて

(公財) AFS 日本協会は、特定の政治・宗教に偏らない非営利組織です。1954年に初めて8人の留学生をアメリカに派遣して以来、現在まで留学・国際交流の活動を進めてきました。現在では日本全国75の支部で留学生の受け入れ、派遣、各種交流活動を行っています。

AFS は国際本部をニューヨークに置き、現在、AFS の加盟国は約 60 か国、交流国は 100 以上に及びます。その活動は、世界各国のボランティアによって支えられています。

AFS で留学できる国は多彩で、留学先でも他の国々からの留学生との交流が盛んです。英語圏に偏らず、より世界規模の国際交流を目指して活動しています。

現在ホストファミリーを募集中のプログラム

ホストファミリーに滞在しながら、地域の高等学校へ通学するプログラムです。

1年(春組・秋組)

▼【春組】AFS 年間受入プログラム

< 2018 年度(予定) > ★募集中

受入生: アジア、オセアニア、北米、中南米、ヨーロッパ、アフリカの高校生

受入時期: 3月下旬～翌年2月上旬

6ヵ月(春組・秋組)

▼【春組】AFS セメスター受入プログラム

< 2018 年度(予定) > ★募集中

受入生: オセアニア、北米、ヨーロッパの高校生

受入時期: 3月下旬～8月下旬

■ホストファミリー、受入に関するお問い合わせ

検索: [AFS ホストファミリー募集](#)

<http://www.afs.or.jp/hosting/>

フリーダイヤル 0120-51-0173

国際部: 担当 中原

